

令和6年度 生成AI に起因するインターネット上の偽・誤情報等への対策技術に係る調査の請負 (実証事業)

放送波を活用した災害時における偽・誤情報対策技術の実証 成果報告書 概要版

2025年2月28日

関西テレビソフトウェア株式会社

実証番号5 関西テレビソフトウェア株式会社: R5補正 成果概要

主たる実証の成果

放送波を活用し、被災地にブロックチェーンと同期された環境の構築を実現。
コンパクトなデータサイズでもノイズ耐性のある偽誤情報の検証が可能に。

証明書発行サブシステム

耐改ざん性のあるブロックチェーンと同期したデータ構成を非ネット環境に構築し、災害時に通信キャリアが応急復旧するまでのおよそ**2週間**、検証可能な環境を維持。
ブロックチェーンに偽・誤情報に関するデータが登録されてから**3秒**以内のIPDC受信を実現。

証明書検証サブシステム

リアルタイムスキャン機能を備えたAndroidアプリケーションを開発し、**誤検知率0.0368%**の精度で事前に登録された偽・誤情報と同一性の高い画像(60%以上で同一性ありと判断)を検知。

今後の課題・展望等

放送設備を使用した検証

今回は送信機と受信機を有線で結合しての実証であったが、放送局の**放送設備**（待機系）を使用し、本放送への重畳に向けた実際に必要な手順を明確化する。

受信機開発

今回は製品化されているIPDC受信機を使用した但、スマートフォンアプリケーションなどと**シームレスにデータ連携**できる受信機を開発する。また、実用化にむけて詳細なデータ設計を行い、偽・誤情報検証の効率化・高速化を図る。

モーダル拡充

今回は画像・動画のみを対象とした偽・誤情報検証であったが、**テキスト**も含めた総合的な偽・誤情報検証を行う。